

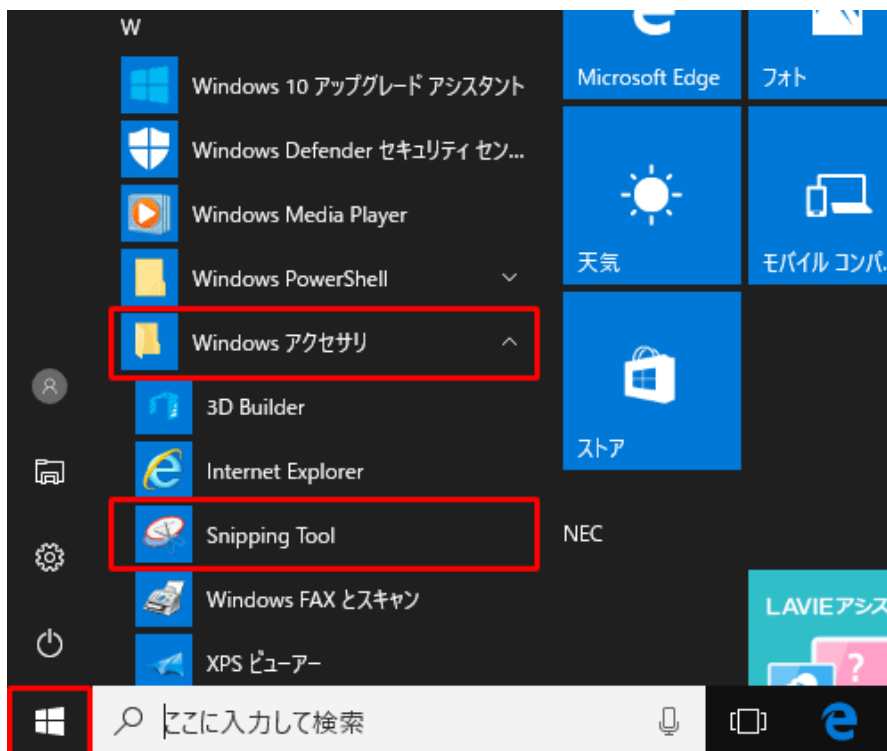
「Snipping Tool」を使用して、画面をキャプチャする方法

Snipping Tool は、パソコンの画面の表示内容を画像として取り込むソフトウェアです。全画面やウィンドウの領域だけでなく、マウスをドラッグして領域を自由に選択して、必要な部分だけを取り込むことができます。

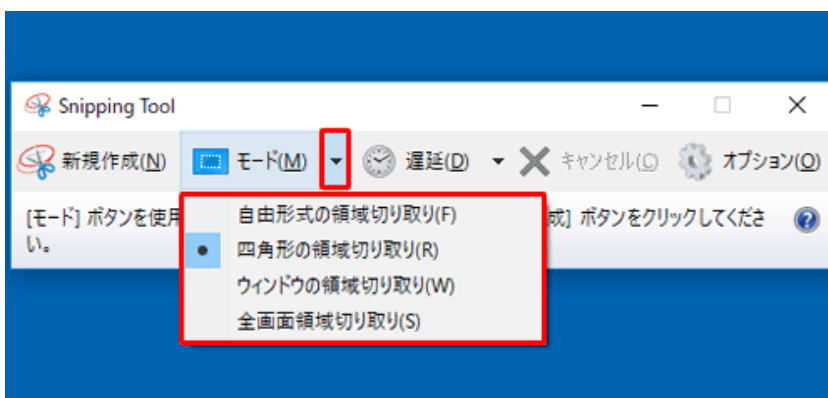
操作手順


Windows 10 の Snipping Tool を使用して画面をキャプチャする操作手順。

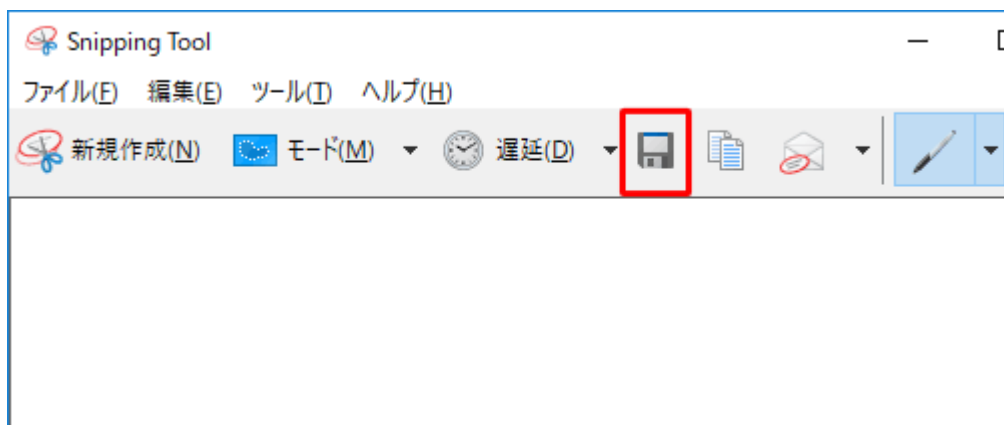
1. 「スタート」をクリックし、アプリの一覧から「W」欄の「Windows アクセサリ」をクリックして、表示された一覧から「Snipping Tool」をクリックします。



2. 「Snipping Tool」が起動します。「モード」の「▼」をクリックし、表示された一覧から、切り取りの種類を選択します

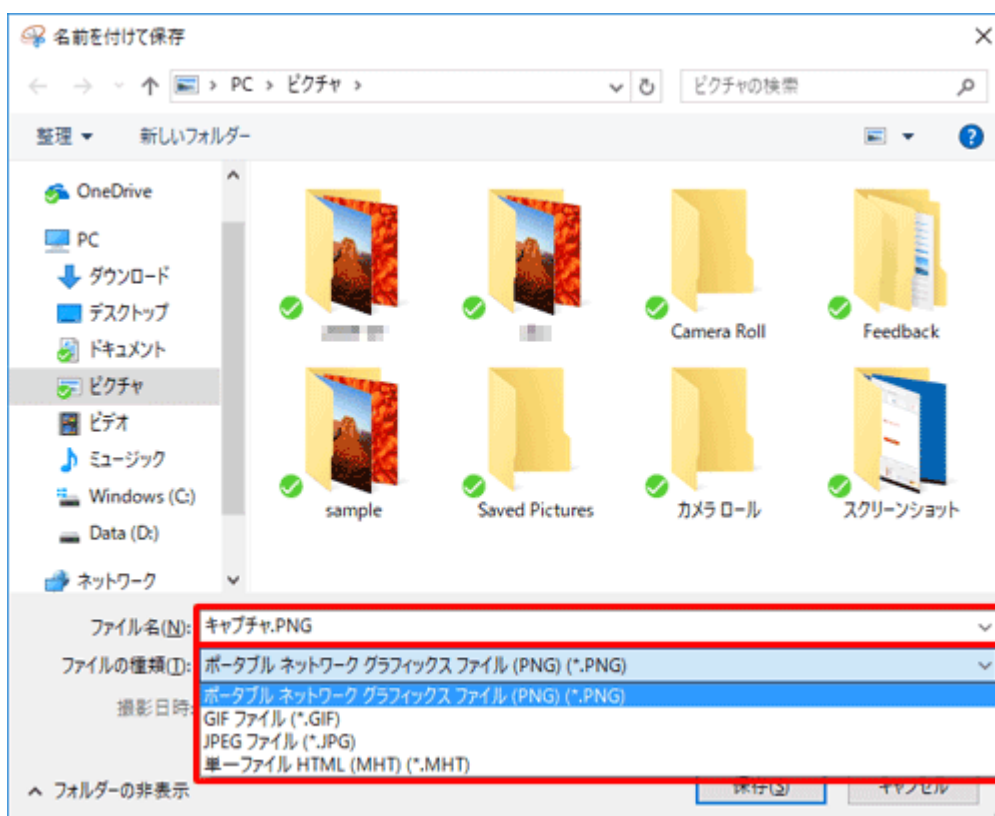


3. 目的の画像が表示されていることを確認したら、ツールバーから「」（切り取り領域の保存）をクリックします。



4. 「名前を付けて保存」が表示されます。

任意の保存場所を選択し、「ファイル名」ボックスに任意のファイル名を入力します
「ファイルの種類」ボックスをクリックし、表示された一覧から保存する際のファイル形式をクリックします。



補足

ファイルの種類（ファイル形式）は、「PNG」「GIF」「JPEG」「HTML（MHT）」から選択することができます。

それぞれのファイル形式の違いは以下のとおりです。

- **「PNG」形式**

色数の少ないイラストから、フルカラーの写真まで保存できる画像形式です。

画像によっては、JPEG形式やGIF形式に比べて、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

- **「GIF」形式**

保存できる色数が少ないため、イラストやWebページの画像に向いている画像形式です。

多くの色が必要な写真をGIF形式で保存すると、画質が劣化することがあります。

- **「JPEG」形式**

色数の多い写真に向いている画像形式で、ファイルサイズも小さく保存できます。

デジタルカメラで撮影した写真ファイルは、JPEG形式で保存されることが多いです。

- **「HTML（MHT）」形式**

画像ファイルではなく、ブラウザソフトで表示する形式で保存できます。

Webページの画面をキャプチャしてMHT形式で保存すると、WebページのURLを同時に保存できます。

キャプチャーとは

ディスプレイに表示されている静止画像や動画像を、画像データとしてファイルに保存すること。

方法は、「Snipping Tool」の他に、「PrintScreen キー」で画面全体を、

[alt]+[PrintScreen] で特定のウィンドウのみを取り込むことができる。

プログラム内「アクセサリ」から「ペイント」ツールを呼び出し、貼り付けを行えば画像が再現される。